



かわねほんちょう 議会だより

第10号
平成20年5月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会だより
編集委員会



中川根中学校入学式



本川根中学校入学式

もくじ

- 予算審査報告 2 ~ 3
- 一般質問 4 ~ 8
- 追加議案 9
- 議会日誌 10

審査状況をお届けします！

(審査日3月7日～14日)



委員長 鈴木多津枝

3月議会は、6日から17日まで22日間開かれ、初日に議案21件が可決（議会日より速報版参照）されました。予算特別委員会に付託された平成20年度予算審査を抜粋して報告します。委員会は7日に始まり、最終日の14日は①町道下村―野志本線②徳山沢協団地（19年度2棟4戸建設、20年度2棟4戸建設）③学校給食センター④B&G海洋センターを現地調査後、全予算を全員賛成で委員会可決しました。行政当局におかれましては、審査で出された意見を踏まえて今後の町政運営に当たられるよう切に要望致します。

一般会計予算

総務課・管理課

- ◎退職者14人、補充は看護師2名で173人に。
- ◎観光シーズンの崎平

―千頭間、奥大井―寸又峡間の交通整理委託料が262万円から336万円に増えたことに、渋滞解消に徳山―青部間の整備も県に強く要望すべきとの意見があった。

◎746万円で文化会館上の元桜保育園を解体し駐車場を整備する。

◎常備消防費1億8千285万円は予備車廃止で職員が減り、前年より約3千500万円減額したが、救急車出動後誰もいない事が多くなった。

◎家庭内家具固定委託料増額は、対象を高齢者から幼児や障がい者世帯へ広げたとの説明に、家屋耐震を進めるべきとの意見があった。

◎償還金元金の1億4千541万円増は、衛生消防組合解散で田代

税務課

◎所得税から住民税への税源移譲で、所得税から住宅ローン控除が出来なくなった人に住民税から控除するため住民税は2千200万円減の2億8千800万円に、徴税費でも過誤納還付金を1千万円増額したと説明があった。

◎地方税滞納整理機構負担金110万円は均等割10万円と、1件20万円の5件分。21人に移管予告したところ8人から約120万円納付、11人が納付約束との説明。

健康増進・保健福祉課

◎社協補助金の減額は、人件費の減額で介護保険で見えるべきものを社協からの数字で精査したとの説明があった。

◎児童福祉施設費の5千万円減は、藤川保育園廃止による職員数の減と園児数の減による。聖母保育園の子育て支援センター廃止は、場所がないと断られたとの説明があった。

◎地名・瀬平保育園廃止で運行している通園バスの廃止に約束が違ふと紛糾したが、利用が少ないので一旦休止とし、再開もあることで決着した。

◎予防費で13才、18才のはしか予防接種を新設。高齢者インフルエンザ予防接種補助費749万円は本人負担千500円を超える分との説明。

町民課・住民課

◎住基ネットワーク機器借上料200万円増額への質問に、5年リース終了で再リースを予定したが、全国的なネットワークなので新機種にするよう国の指導があった。国補助は聞いていないとの答だった。

◎一般廃棄物処理委託料5千953万円は、組合解散による島田市への委託料で、均等割2千984万円、ごみ量割3千68万円から搬入割引100万円を引いた額。



田代環境プラザ

予算特別委員会

(単位：万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般会計予算	64億8,000	56億2,000	60億8,200
特別会計予算			
国民健康保険事業	9億4,520	10億1,100	10億9,700
老人保健	12億1,650	11億7,390	1億2,700
後期高齢者医療			1億1,160
介護保険事業	8億5,260	8億5,520	8億6,070
簡易水道事業	3億9,090	3億9,940	2億4,720
温泉事業	2,710	2,240	2,090
いやしの里診療所		3,880	4,380

- ◎ **企画環境・企画観光課** 指定管理委託料500万円
 ◎ 集会所修繕補助率を150万円以上の大規模修繕を9/10から2/3に、150万円以下の小規模修繕は1/2のままだが、畳の取り替えも対象に広げたとの説明に、大規模補助が下がり大変な負担増になる。対象基準を明確にするべき等の意見があった。
- ◎ **大新東への町営バス運行管理委託料の約400万円の増額は法改正で10月から運行管理者を現地に置くための人件費、事務所費の半分との説明に、入札し直すべきとの意見があり、3年契約の中途での契約破棄は賠償請求もあるのでは次の入札を待ちたいとの答があった。**
- ◎ **商工会活動補助金の100万円減額は、補助対象を明確にしたためとの説明があった。**
- ◎ **もりのくに運営費の**
- ◎ **緑茶加工施設整備補助金220万円は旧本川根でやっていた個人農家の機械更新への補助で、20%の6件分。**
- ◎ **農林センターの35kg製茶機を品評会だけでなく一般も使えるようにして欲しいとの意見に、品評会用は管理が厳しい。品種改良など町も入った研究や試験採みなら条件が合えば貸し出すとの答だった。**
- ◎ **住宅建設費1億7千万円中、若者住宅建設に約1億円。独身向けを家族向けにするのは当初の目的と違う。一旦中止し見直の要望に21年度分は建設委員会**
- ◎ **国民健康保険事業** 一般医療費の2億円増は、制度改正で退職被保険者の65〜74才が一般に移る事と、医療費伸び率の増が原因。
- ◎ **川根町と共同設置していた介護認定審査会を20年度から町単独で設置、委員16名、隔週開催予定との説明。**
- ◎ **後期高齢者医療事業** 県広域連合納付金1億千155万円を、75才
- ◎ **温泉事業** 工事請負費1千100万円は引湯管の布設替えで、飛龍峡下300mを予定している。寸又峡まで10数年かかるとの説明。
- ◎ **いやしの里診療所** 人件費や医療機器購入費等一般管理費3千541万円と医療費790万円を、診療収入見込み3千300万円に一般会計繰入1千64万円を賄う。代診医派遣委託料240万円は、週1回の半日分。
- ◎ **教育総務課** 小中学校の工事費減に、中川根側はトイレ改修は終わったのかとの質問があり、一定の改修は済んだとの答。
- ◎ **生涯学習課** 海洋センター運営費約1千万円減は、前年車輛購入や、給与基準も下がったためだが、プール使用期間短縮など経費削減に努めているとの説明があった。
- ◎ **簡易水道事業** 普及率は中川根側が田野口を入れ99・4%、残る平溝地区は飲料水供給施設を検討。本川根側は99・5%、古いので更新もあるとの事。
- ◎ **指定管理委託料500万円と、ウッドハウスおろくぼ委託料の整合性が必要との意見があった。**
- ◎ **産業課** 特産物振興事業費補助金814万円は茶園560aの改植で、土木業者2社が改植に参入しているとの説明があった。
- ◎ **緑茶加工施設整備補助金220万円は旧本川根でやっていた個人農家の機械更新への補助で、20%の6件分。**
- ◎ **農林センターの35kg製茶機を品評会だけでなく一般も使えるようにして欲しいとの意見に、品評会用は管理が厳しい。品種改良など町も入った研究や試験採みなら条件が合えば貸し出すとの答だった。**
- ◎ **建設課・事業課** 農業農村整備事業の県営中山間地域総合整備事業負担金4千181万円について、入札には地元業者が入るかとの質問に、県が指名するが地元優先は考慮されているとの答があった。
- ◎ **毎年2千万円余もかけて地籍調査をしているが何のためかとの質問に、今の公図は明治に作ったもので精度が低く公平さに欠ける。是正が必要だが、今のペースだと中川根地域を終るのに200年かかる。なるべく住宅地を優先して進めるとの答。**
- ◎ **住宅建設費1億7千万円中、若者住宅建設に約1億円。独身向けを家族向けにするのは当初の目的と違う。一旦中止し見直の要望に21年度分は建設委員会**
- ◎ **国民健康保険事業** 一般医療費の2億円増は、制度改正で退職被保険者の65〜74才が一般に移る事と、医療費伸び率の増が原因。
- ◎ **川根町と共同設置していた介護認定審査会を20年度から町単独で設置、委員16名、隔週開催予定との説明。**
- ◎ **後期高齢者医療事業** 県広域連合納付金1億千155万円を、75才
- ◎ **温泉事業** 工事請負費1千100万円は引湯管の布設替えで、飛龍峡下300mを予定している。寸又峡まで10数年かかるとの説明。
- ◎ **いやしの里診療所** 人件費や医療機器購入費等一般管理費3千541万円と医療費790万円を、診療収入見込み3千300万円に一般会計繰入1千64万円を賄う。代診医派遣委託料240万円は、週1回の半日分。



沢脇住宅



中田隆幸議員

問

- ・本町の委員会活動及び統合・再編等は
- ・音戯の里駐車料金及びシーズン中の駐車場は

質問 委員会活動について、また、今後再編、統合を考えておられるか。

町長 委員会活動は町が設置する付属機関とそれに準ずる機関とに大別されます。付属機関は、町の事務事業について必要な審査、審議または調整等を行うため、地方自治法第138条の第3項の規定に基づいて、町長及びその他の執行機関に設置された機関であります。一般的に町が施策を立案する際、関係者に幅広く聴取し、議論を尽くし、諮問などを行う機関として設置されています。付属機関に準ずる機関は、町が行う事務事業の実施にあたり、住民の意見やニーズの把握を目的として、要綱等より設置された委員会であり、23の付属機関と34の準ずる機関があります。統合、再編に関する事ですが、付属機関は、町政への町民参加の促進及び公正で透明な町政推進のための目的で設置してありますが、設置目的が同一性や類似性を勘案すると計画的な統合・廃止を見直す事も必要と考えています。

質問 議員派遣の委員会が有りますが今後どのように考えているのか。

町長 付属機関の委員会に議員を選任する事は、違法では無いが適当ではないとされています。議決機関と執行機関との分立という趣旨から適当ではないとされていますが、町

民の意見を代表して幅広い見地での議員活動に生かして、審議会の審議内容を議会の中での審議に生かして頂くという面もあります。平成16年で全国の約7割の議会議員が付属機関に就任し、3割の町村ではしていません。今後、議決機関と執行機関と協議の上、対応を検討したいと考えております。



音戯の郷で議員研修

町長 平成10年に道の駅に認定され、無料で利用性の高い公共スペースを一定の方が無料で占有している状況は、公平性の確保や行財政改革の推進の観点から問題が有るといふことで昨年10月より駐車場一部解除の登記事項等変更届けを出し、バス一日、千円、月極料金3千円、大型6千円を徴収しております。現時点での利用状況は、二月までバス566台、56万6千円、月決め車両ではバス3台、普通自動車11台で25万5千円です。行楽シーズン中の駐車場確保は普通自動車は大井川河川敷に、大井川鐵道関係はJA大井川本川根支店手前の民間の土地を利用していただく。



音戯の郷駐車場

示は職員が巡回して指導しております。

町長 観光の振興と交流人口の増大の為に、特に町外者に解りやすい表示等十分に配慮して配置をしたいと思っております。

答

- ・委員会は町政への町民の参加必要に応じて考えたい
- ・駐車料金は必要と思う



原田全修議員

問

- ・川根町は4月から「島田市川根町」となる
- ・新島田市ほか周辺自治体との今後の行政運営の連携を如何に図るか

質問

行政運営の連携について 4月から当

町の隣接自治体は静岡、浜松、島田の3市となる。"陸の孤島"とならないよう周辺自治体に対する連携への働きかけが重要ではないか。

町長

吉田町を含めた

島田・榛原地区広域市町村圏協議会、島田・川根地域活性化連絡協議会は引き続き継続。島田市を中心に空港開港を目指した大井川観光連絡会等の再編など現在協議中。

質問 道路交通事情改善への働きかけについて

町長 静岡市・川根町間国道バイパス建設促進期成同盟会と、平成20年度に立ち上げる予定の春野町〜下長尾間の整備促進同盟会で国道362号の整備促進を要望していく。島田

市長を会長とした御前崎・奥大井連絡道路整備



新装した「島田市川根町支所」

備促進期成同盟会では

国道473号の瀬沢から南の狭隘箇所を拡幅や久野脇と地名間のバイパス建設など要望活動を行っていく。現在ではまだ構想の段階である寸又に対するバイパス

工事については、局所改良等をお願いしている。渋滞対策としては

交通誘導員の配置等を行いながら極端な渋滞が発生しないよう配慮していく。

質問

情報・通信インフラの整備について

当町の財政シミュレーションでは、平成22、23年度でブロードバンド構想に12億円という

膨大な投資計画が描かれて

いるが、特に島田市等流域の連携が図れるような情報インフラの設計が重要で過剰投資は避けねばならない。

町長

本年度に川根本

町地域情報化計画および川根本町光ファイバー整備構想の策定を行っているが、島田市とは連絡を取り合い策定している。国交省や中電の光ファイバー網の接続や通信会社の参入が可能か等調査研究しているところ。

質問 地場産業の振興について

町長 静岡空港の開港を茶業の消費拡大の好機として捉え販売促進事業の実施に向け志太・榛原地域関係者

との協議を進めていく。「川根お茶街道」という川根地域の生産・加工・流通関係者、J Aも加わった組織を通じてブランド力のアップ

を図っていく。大井川

観光連絡会等の広域の連携の中で観光ルートづくりを検討していく。

質問

農山村活性化プ

ロジェクト支援交付金での「てん茶加工・販売事業」の立ち上げについて ホームページでの資料では、てん茶加工施設は「(株)茶和希」が受け持つ、てん茶の販売等に「川根抹茶マーケティング研究会」が担当するとなっている。このプロジェクトの計画主体と事業の推進体制を伺う。

産業課長 計画主体は自治体である。川根町としてはJ A、県とともに意欲のある農家

に対しての支援をしている。事業の推進は農家であるが、推進計画に対しては行政、J Aが支援をする。

質問

川根高校との中

高連携の一体性について 島田市側とはどの

ような調整をしてきているのか。

町長 合併後の島田市においても、川根地域の特性を重視し川根高校後援会助成などとともに、従前と変わらぬ事業支援と連絡協議会組織への参加を継続することになっている。

答

- ・志太・榛原地区は合併でさらに変貌を遂げる
- ・従来の市町連携を脱した新たな連携の仕組みの中で対応する



板谷 信議員

問

・人口減少を防ぐため、積極的な行財政運営をすべきでは

質問 町が人の集合体である以上、人口が減少したり年齢の構成が極端に偏ったものになると、町として機能していかなくなる。人口を減らさない政策に転換、集中すべきである。それは将来くる合併により、当地域が大きな市の一部となる前にすべきである。そのためには、むやみに財政規模を小さくしない。でき得る限りのぎりぎりの行財政運営をしていく覚悟が必要であると思うが。

町長 人口の減少は日本全体の話でもあり、各地方自治体の大きな課題と認識している。これが急激に回復するとは見込めない状況であり、ある程度人口減少も想定しながら、町の行財政運営をしていくことが必要である。

質問 10年間で2千人の減少がある程度の減少なのか分からないが、人口を減らさない政策にはどのようなものがあるか。

町長 年齢、階層別、あるいは産業別、さまざまなアプローチの仕方がある。ただ、私が一番重視しているのは、個別の政策より住民がこの地域に誇りと自信を持って住めるようなペースをつくっていく必要がある。ただ、私が一番重視しているのは、個別の政策より住民がこの地域に誇りと自信を持って住めるようなペースをつくっていく必要がある。

質問 町の誇りと自信で人口減少が止まるとは考えない。やはり生活できる状況が整って、そこに人がいてこそ初めて誇りとか自信がでてくるものだと思う。大きな自治体になってしまっただけで、今集中的にやっております。そのためにはある程度積極的な財政運営も必要ではないか。

町長 基本的には、現在のしつかりとした経



元気な声が響く町

費の節減をすることが必要である。

質問 固定的な経常経費の部分の行政コストを下げる具体的な方法として行政コスト計算書があるのでは。何年か前につくった観光施設が老朽化し、その管理運営費が町の財政を締め付けている。まずこのような事業からコスト意識をもって検討していくことが必要では。

町長 具体的な運用に對しては、検討する部分が多いが、できることからやっていくことも必要かと思う。

質問 これからの行財政運営の前提として、財政健全化法などを参考にした中で、町の財政状況をどう考えるか。

町長 基本的には現在の規模というのが一つの基準かと感じている。

質問 もう少し具体的な答えがもらえないと議論できない。町長は本町の実質公債費比率は10・2%だと説明したが、この数字をどう評価しているのか。また、実質収支や負債の部分など町の財政への認識を聞きたい。

町長 10・2%は高くも低くもない数字であり、この数字を維持していくことが一つの方向であり、25%が上限だからそれに近づけていくという考えはない。

質問 他の部分の答弁がないので質問を進めていいか迷っている。財政の健全を保つのは悪いことではないが、今ある財政指数を下げ

答

・基金を使ってしまおうとか、借金をできるだけするという考えはない

たくないという考え方で、行財政運営でだけではないのか。

町長 将来合併があるから基金を使ってしまうとか、借金はできるだけしておくという考えはしていない。



久野孝史議員

問

- ・井川発電所・奥泉発電所の水利権更新について
- ・大井川全川と長島ダムの土砂対策について

質問

中部電力への要望に対する反応と、町を受け流す方策の受け止め方について。検討等を加え、経費の町長 中電には井川と奥泉発電所に対しての減水区间のみではなく全川の流況改善を基本とし、環境改善と維持を必要とする水量を

質問

国、県の動きと協議会の設置について

町長

水利権は県知事が意見を付けて国へ申請することになっており、本町や清流を守る研究協議会で採択した要望を伝えて来た。環境改善をしていく為に恩恵を享受する団体の相互理解が必要で、2者間での解決では今後の改善の道は厳しいと考えるが、県は、今回の更新は当事者間で、先の大井川水利流量調整会議で示された科学的

法については、ダンプのみでは交通への影響を考え、大井川鉄道輸送との併用も検討されている。又、県では砂利採取が上流部へ順次移動しているもので、いかに安定的に低コストでできるかということ

で、両方で円滑かつ長期的に排除することを考え、地元としても要望しております。



大井川ダム

町長

水利権は継続となるのか

水利権は継続となるが協議上の合意に基づいて確認事項が起

る。

町長

堆砂の現状は50年から比べると、塩郷堰堤から上流では上昇、下流は低下の傾向

にあり協議会を設置し、連携を取り対策に当たっています。長島ダムでは貯砂ダムに堆積した土砂の置き土を計画し

効果検証を行ないながら下流及び海岸への供給を図る。その運搬方

- ・今回の更新も流境改善の大きな契機としている
- ・河川機能を維持する為継続的に排除を行なう

答



鈴木多津枝議員

問

- 後期高齢者医療の資格証明救済策は？
- 町営バスの早期全町運行を！
- 乳幼児医療費補助を中学卒業までの全ての子どもに

質問 反対の声が大きい後期高齢者医療制度の当町の状況、町長の認識、救済策は。

町長 新制度の被保険者数は2千33人で、保険料が年金天引きの特別徴収者は千568人、自分で納付する普通徴収者は465人で、収入が年18万円以下の方の年金だけと思われ、収入が81人と把握。この場合の固定資産税もない単身者の国保税は1万2千300円だが、新制度では9千700円になる。被用者保険の扶養者は15人だが、20年度は半年凍結で一律年1千600円を6回に分けて納付する。新制度は、増え続ける医療費を別立ての制度で効率化を図り、年金からも一定の負担を求めて、世代間の公平性と後期高齢者にふさわしい医療体系の整備に必要な改革と考える。

質問 同じ徴収法の介護保険で普通徴収者の滞納は18年度末で55人になっており、新制度でも同じ事態が考えられる。資格証明になる

町長 必要があれば要綱の改善も要求し、適切な運用に努めたい。
町長 町営バスの全町運行見通しと、本川根側の外出支援サービスの問題解決策は？
町長 通院以外も使える外出支援サービスに

したことで、通院などの利用が困難になっていく。バスの全町運行について、バス路線対策会議の協議結果を踏まえて、20年度に試行

力を入れていく。早期実現に努めたい。
質問 多くの自治体が子どもの医療費補助引き上げや放課後学童クラブ設置などの子育て支援の充実を。
町長 乳幼児医療費助成については財源をどこに確保するのか十分に検討しないと、軽々に制度開始は出来ない。放課後学童クラブについてはアンケートの結果、就労などにより家に帰っても誰もいない児童が1年から3年生に21名あり、出来るだけ早く立ち上げたい。指導員確保、送迎、設置場所の選定などの課題もある。

9月以降に1カ所で行実行的に実施し、基盤整備していききたい。

上たことで町の負担が減る事をご存知か。
町長 勉強不足で承知していない。
質問 質問を通告し、担当課でも調べたのに、知らないのは、勉強不足と言うより、町長の姿勢が報告できない職場にしているのでは。
町長 制度改正に対する情報収集は町長としてしておかなければならない問題。私の勉強不足と思う。
質問 所得制限はほとんど自治体で廃止している。町で一番頑張っている人が、わずかな差で児童手当も医療費補助も受けられない。当町も止めるべき。

町長 所得がある人からは頂くのが基本。医療費制度があるからかかりやすくなくなる。病気にならないよう健康づくりをする事も必要。負担だけを議論すべきではない。

答

- 必要があれば改善も求め適切な運用に努める
- 21年度に予算化できるよう早期実現に努める
- 補助で医者にかかりやすくなる。健康づくりも大事

最終日の追加議案で紛糾！

議会最終日の17日に、「ウッドハウスおろくぼ指定管理者について」と「いやしの里診療所条例の一部を改正する条例」の二件が追加議案として上程され可決されました。

議案第31号

ウッドハウスおろくぼ指定管理者について

ウッドハウス、緑の伝習館、テニスコートを条例第6条の規定により大新東(株)静岡支店に経営委託するものです。議案に対する討論が行なわれ、賛成9、反対4で可決されました。

反対 板谷 議員

本議案の前提となる業者提出の収入見込みと本日可決した一般会計予算の収入見込みと矛盾する。一般会計に賛成した以上、本議案に賛成は不可能である。

賛成 小藪 議員

平成18年度は収支で1千万円減であり現況では町営の限界を感じる。行財政改革のなか、ウッドハウス設置目的

反対 山本 議員

指定管理者は、賛成でありませんが、募集要項と委託料の内容について、説明がありませんので、町民に質問を受けたい。説明ができませんので、反対致します。

賛成 中澤 議員

ウッドハウスの赤字は容認出来ない。民営

反対 鈴木 議員

化に移行し赤字を減らし、住民サービスの向上をはかり、又職員の仕事を減らし、職員定数の見直しを図るべき。

公募・決定は「大新東」ありきの不公平・不透明。これまででも職員に責任押し付けや首すげ替えで人権無視を繰り返し、今度は企業丸投げで無責任だ。

賛成 久野 議員

手続き上の問題を、当局も改善を確保している上、収益性の高い施設であるので、指定管理が必要であり、今後の施設運営に有効であるとして賛成します。

議案第30号

いやしの里診療所条例の一部を改正する条例について

全員賛成で可決されました。

毎週水曜日の代診医 前・午後どちらかになが、県の無料派遣から、るので、受付時間や診療時間から有療時間の「月曜日から金曜日」の記述を削除する。医師の都合で午して弾力性のある運用が出来るようにするための改正と、国の診療報酬改正が行われた事による根拠記述の改正です。

議員発議で『議員定数検討特別委員会』設置！！

3月17日の議会において、かねてより全員等を敏感に反応し対応協議会で提案されていた定数削減に関する問題が発議第1号として提出し、全議員賛成で可決、委員会が設置されました。平成17年9月議会までに一応の目標が提示され、本年中に決定の予定です。

田・佐藤議員の5名で。なお議長、副議長がオブザーバーで参加します。



ウッドハウスおろくぼ



議場



いやしの里診療所スタッフの皆さん

議 会 日 誌



<のりのりの町福祉大会>

1月

- 6日 消防団出初式
- 13日 成人式
中川根商工会新春講演会
- 16日 全員協議会
- 24日 本川根商工会賀詞交換会
- 30日 町社会福祉大会

2月

- 4日 全員協議会
- 6日 議員研修会
- 10日 文化講演会
- 21日 神奈川県清川村議員来町
- 22日 全員協議会
- 24日 生涯学習のつどい
- 27日 全員協議会



<議員研修会>

3月

- 1日 川根高校卒業式
音の彫刻表彰式
- 2日 景観戦略課題研究会報告会
- 6日 3月定例議会初日
- 7日～14日 予算特別委員会・現地調査
- 17日 3月定例議会最終日
- 18日～20日 町内小中学校卒業式
- 20日 22日 27日 幼稚園・保育園卒園式
- 23日 茶業者大会



<小学校卒業風景>



<卒園式（三ツ星保育園）>



<編集作業中>

編集委員
委員長 鈴木多津枝
副委員長 小藪侃一郎
委員 久野孝史
板谷 信
中澤 智義
中田 隆幸
佐藤 公敏

“茶期到来”ケガのないよう注意しましょう。
(T・N)

活気溢れる季節となりました。自然の懷ろに抱かれ総べての動植物が生き生きと活動を始めました。そんな中で人間の営みはどうでしょうか？経済的豊かさを追うあまり、大切なものを失ってはいないか、国も町も、そして私達大人の姿勢が問われる氣がします。

編集後記